

## ウォーターセーフティ指導員養成講習会 指導要領【時間配分一覧】

章タイトル		学科(分)	実技(分)
1	学科指導実習	0	170
2	実技指導実習	0	210
3	検定試験、開・閉講式、等	115	345
講習時間小計		115	725
		1時間55分	12時間05分
講習時間合計		840	
		14時間00分	

講習時間: 14時間

- ・講習時間は最低講習時間数とする
- ・1日の講習時間は8時間を越えないことを原則とする
- ・講習時間には検定の時間を含める。

※JLAアカデミー 指導員資格認定に関する規程細則 第1条(指導員養成講習会内容)より



ウォーターセーフティ  
指導員養成講習会  
指導要領【学科】

最終更新日:2020年1月28日

日本ライフセービング協会

JLAアカデミー本部 ウォーターセーフティ委員会

章タイトル	項目	時間	到達目標	指導内容／指導上の留意点
検定試験、 開・閉講式、 実習打合せ、等 【115分】	開講式	10	指導員紹介、スケジュールの確認、など	
	実習打合せ、事務連絡、など	15	学科指導実習、実技指導実習における指導内容の打合せ、各日のまとめ・事務連絡、など	
	学科検定	60	学科検定試験	
	閉講式	30	修了証の配布、合否発表について、今後の事務連絡、など	
	学科講習合計(分)	115		

章タイトル	項目	時間	到達目標	指導内容／指導上の留意点
<b>学科指導実習</b> <b>【170分】</b>	教本第1章～4章の学科項目について	170	ウォーターセーフティ講習会の学科を、指導要領に沿って指導出来るようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項目ごとに受講生を割り振り、5分間の学科指導実習を行う。</li> <li>・5分間の実習後、他の受講生からのフィードバックを3分間実施する。</li> <li>・指導員もフィードバックを行い、改善すべきポイントを伝える。</li> <li>・学科に対して理解度が低いと判断した場合は、学科に対する指導を行う時間も兼ねる。</li> <li>・講習期間中、数回の学科指導実習を行うが、指導責任者は受講生の割り振りになるべく重複しないように配慮する。</li> </ul>
	教本第3章および4章の実技項目について	210	ウォーターセーフティ講習会の実技を、指導要領に沿って指導出来るようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項目ごとに受講生を割り振り、5分間の実技指導実習を行う。</li> <li>・5分間の実習後、他の受講生からのフィードバックを3分間実施する。</li> <li>・指導員もフィードバックを行い、改善すべきポイントを伝える。</li> <li>・実技に対して理解や見本となれる動作ができない場合は、実技に対する指導を行う時間も兼ねる。</li> <li>・講習期間中、数回の実技指導実習を行うが、指導責任者は受講生の割り振りになるべく重複しないように配慮する。</li> </ul>
<b>検定試験、開・閉講式、実習打合せ、等</b> <b>【345分】</b>	実技検定/学科指導	90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定された1つの項目を5分間で実技検定を行う。</li> <li>・他の受講生からのフィードバックを各検定後に行う。指導員(検定員)からのフィードバックは行わない。</li> </ul>	
	実技検定/実技指導	150		
	実技検定/実技デモンストレーション	40	泳法およびウォーターセーフティ実技デモンストレーションの実技検定を行う。	
	休憩、など	65	休憩は適宜取り入れる。	
実技講習合計(分)		725		